

半数以上が「老後は海外で！」

日本「嫌国度」調査
 ～老後に住みたい国・都市ランキング～

消費税の増税が決まった。日常生活に必要な食品や住宅購入にまで課税するなど、欧米の先進国とは逆行した政策を着々と進める日本政府。更に地震災害、原発問題なども相まって今、「嫌国」ムードが静かに拡がりつつあるという。ならば、多くの日本人はこの国をどう考えているのだろうか。たとえば、「老後に住みたい国」たりうるのだろうか。

そこで、オウチーノ総研（本社：東京都港区／代表：井端純一）は今回、20代以上の男女1094人（有効回答655人）を対象に、「老後に住みたい国・都市（地域）」をテーマにアンケート調査を行った。その結果、「老後に住みたい都市（地域）」はハワイが総合1位を獲得、「老後に住みたい国」では「日本」が全世代で第1位を獲得した。「いろいろあるが、まだ日本は捨てたものではない」、というのが多くの日本人の心情なのかもしれない。ちなみにアメリカが全世代で「住みたい国」第2位となった。

■調査概要

対象 日本在住の20歳以上の男女1094人（有効回答655人）
調査方法 インターネットによるアンケート調査

老後に住みたい世界の都市（地域）										
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
都市	ハワイ	沖縄	東京	シドニー 神奈川	北海道	京都	バンコク	バンクーバー バリ島、他	バリ 兵庫	クアラルンプール ローマ、他
	13.3%	6.9%	6.1%	2.1%	2.0%	1.8%	1.7%	1.4%	1.2%	0.9%

1. 温暖な気候のリゾート地が、老後の暮らしにも人気！

人気No.1リゾート地である「ハワイ」が、「老後に住みたい都市（地域）」総合第1位。選んだ理由として最も多かったのは、温暖な「気候」。「穏やか」「楽しそう」「のんびりしている」といった「雰囲気」に関する理由が次に続いた。そして「日本語が通じるから」という理由が3番目。つまりは、「老後は都会の喧噪を離れ、暖かい土地でゆったりと過ごしたいが、なるべく生活様式は変えたくない」というのが、大多数の日本人の憧憬イメージなのだろう。

一方で、3位「東京」、と4位「神奈川」、を選んだ人には、「住み慣れているから」「子どもや孫と離れたくない」などの理由が多かった。地縁・血縁や、住み慣れた場所での生活を重視する「安心できる暮らし志向」が底流にあるのだろう。また、トップ5には国内の都市・地域が4ヶ所ランクインした。

日本への近さと物価の安さで、海外移住先として人気の東南アジアは、「バンコク（タイ）」が7位、「バリ島（インドネシア）」が8位、「クアラルンプール（マレーシア）」が10位にランクインした。その理由は「物価の安さ」。手元不如意の老後を考えれば、「コストパフォーマンス重視」は致し方なからう。

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■
 オウチーノ総研／清水（株式会社ホームアドバイザー内）〒105-0012 東京都港区芝大門 2-9-16
 <TEL: 03 (5402) 6887 FAX: 03 (5402) 3313 E-MAIL: hp-socket@homeadvisor.co.jp>

2. 「もし移住できるなら海外へ」が半数以上！

老後に住みたい国					
	1位	2位	3位	4位	5位
20代	日本	アメリカ	オーストラリア	スウェーデン	イタリア スイス ニュージーランド
	44.5%	12.6%	6.7%	5.0%	3.4%
30代	日本	アメリカ	オーストラリア	タイ	スイス フランス
	38.6%	18.2%	6.1%	3.8%	3.0%
40代	日本	アメリカ	タイ	オーストラリア	ドイツ
	42.9%	23.6%	6.4%	3.6%	2.9%
50代	日本	アメリカ	ニュージーランド	オーストラリア	マレーシア
	42.6%	16.3%	7.1%	5.7%	3.5%
60代～	日本	アメリカ	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド
	47.2%	11.4%	5.7%	4.9%	4.1%

「老後に住みたい国」は、20代～60代以上までの前世代で「日本」が半数近くを占め、第1位を獲得した。しかし、心身も仕事も充実した、30代の日本支持はわずか38%。働き盛りには、この国は「割が合わない」と映るのか、他の世代と比べて「嫌国度」が目立った。2位は全世代で「アメリカ」。「オーストラリア」も全世代でトップ5に入り、人気の高さを示した。

しかし、半数以上の日本人が、可能か不可能かは別にして、移住できるとしたら「老後を海外で過ごしたい」と考えていることも、かつてなかった大きな変化だ。

「嫌国」とは言わないまでも、今、多くの日本人が現在の日本のあり様にある種の「違和感」を感じているのかもしれない。